

(C) 無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

赤 旗

(第3種郵便物認可)

政治を動かす

参院議員・比例候補

井上さとし物語

真金政治に厳しい審判の下
った総選挙後の臨時国会で、
日本共産党が単独提出した
「企業・団体献金全面禁止法
案」が審議入りし、提出者と
して「投票権を持たない企業
が財力を使って献金し政治を
ゆがめれば、国民の参政権が
侵害される。パーティー券購
入を含めて禁止すべきだ」と
答弁しました。

■ ゆがみ正して

質問では「禁止ではなく公
開」という石破茂首相に対し、
政府の新エネルギー政策に財
界の要求通り「原発の最大限
活用」が盛り込まれる一方、
原発関連企業から自民党に対
し11年で76億円もの献金をし
ていることを突きつけ、「公
開の場でゆがめられている」
と追及。企業・団体献金も政
党助成金も受け取らず、国民
に依拠する日本共産党との差
を鮮烈に示しました。

共産党らしさ鮮烈に



立憲民主党の小沼巧議員（右手前）の質問に答弁する
井上哲士議員＝2024年12月23日、参院政治改革特委

日本共産党がジェンダー平
等綱領に明記した下、女性
差別撤廃条約の選択議定書の
批准を一貫して求めてきまし
た。2001年に初当選し、
最初の質問が選択的夫婦別姓
の早期実現でした。以来24年
間求め続け大きく条件が広が
っている今国会での実現へ意
気込みます。23年には、女性
トイレにだけ長い列ができる
のは不平等で女性の社会参加
の問題だと、トイレ増設
を求めました。「よくぞ取り
上げてくれた」「諦めていた
けど権利なんですね」と反響
を呼びました。
高額療養費の負担限度額の
引き上げは患者団体の訴えや
国民世論の中、石破首相は見
送りを表明。参院で予算修正
し、衆院で再議決という現行
憲法下で初めての事態となり
ました。今回の問題の根底に

は社会保険料負担の軽減のため医療の削減を求め続けてきた財界の要求があります。政治のゆがみを正して社会保険の充実を求める党の論戦に党参院幹事長として先頭に立っています。

■ 2年連続表彰

奮闘する井上氏は2月、2年連続で3回目の「三ツ星議員」の表彰を受けました。特定非営利活動法人の「万年野党」（田原総一朗会長）が国会会期ごとに質問回数・時間、議員立法数、質問主意書数で評価するもの。表彰式では「今日も私学助成の拡充を求める全国集会、昨日は保育の支援を求める集会があった。これまでよりも多くの人たちが参加して熱意がある。少数と党という新しい政治状況のもとで願ひ実現のチャンスとの期待を感じる。しっかりと応えるように頑張りたい」とあいさつ。国民の願いに応えながら政治のゆがみをただす井上氏の姿が、国会内でも際だっています。

参院比例候補の活動区域
◇山下よしき候補 大阪、
兵庫、滋賀、奈良、和歌山
◇井上さとし候補 京都、
東海・北陸信越